

事業計画書

事業名	杉原千畝夫妻顕彰活動
実施場所	沼津市港口公園、プラサヴェルデ
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2023年4月1日 ～ 2024年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

碑前祭を通して市民の皆様に沼津市が杉原千畝を支えた幸子夫人の誕生地という命のビザの縁の地であることを知っていただき「沼津の誇り」としていただきたい。人道の精神を次代を担う人々の心の支えとなっていただければ幸いに思う。一方、講演会に一流の講師を招き「命のビザ」についての認識を深めていただければと願っている。

とくに本年は沼津市制100周年の節目の年であるので、沼津市が「人道の町」「国際都市」へと発展する願いを込めた「希望の集い」としたい。そのために奉納演奏は祝意を込めて威勢よく白隠太鼓さんに演奏をしてもらう予定である。

また、第4回「命のビザ講演会」は11月25日に講師に毎日新聞元モスクワ支局長の石郷岡建を迎えて「杉原千畝とスターリン」と題する講演をお願いする。これまでの参加者から「命のビザを得たユダヤ難民たちは何故、ソ連の通過ビザを得てシベリア鉄道に乗れたのだろうか？」という疑問が寄せられていた。昨年9月に『杉原千畝とスターリン』という題名の書を出版した石郷岡さんはその疑問に答えて下さる最適の講師だと思う。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

3年前に港口公園に杉原千畝の奥様、幸子夫人が沼津市の生まれであるという御縁により御夫妻の顕彰碑を建立して顕彰活動が始まった。幸子夫人が沼津生まれという事実による杉原夫妻と沼津との関連、お二人が勇氣ある決断で示した人道主義の大切さを一定程度認識していただいたが、まだまだ十分ではないのが現状で、これからも継続して発信していくことが必要である。今年は幸子夫人が誕生110年に当たり、母校の県立高松高校と提携して顕彰活動に取り組む事になった。11月の碑前祭に高松高校の担当の先生1人と生徒2人の招聘、12月には市内高校との交流を計画している。顕彰活動が「点から線へ」と発展する第一歩としたい。また、ロシア軍のウクライナ侵攻1年という事態に遭遇し人道の精神の大切さを再認識し募金活動によってウクライナへの人道支援にもしたい。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
4月	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 2023年度事業計画の確認 顕彰会役員 長興寺
5月	顕彰活動の案内チラシの作成 顕彰会会員（15名） 長興寺にて
7月	第3回碑前祭の準備、高松高校との打ち合わせ（Zoomにて）
9月	同 実行委員会

11月5日	同 実施
11月	同 反省会ならびに第4回命のビザ講演会の準備
11月25日	第4回命のビザ講演会 「スターリンと杉原千畝」 プラサヴェルデ
11月	同 反省会 次年度への展望
3月	事業報告書、収支決算書の提出

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

1. 沼津市民の認識と参加の拡大
2. 市内の学校と連携して高校生、中学生の関心の喚起
3. 顕彰活動の連携の広がり 点から線へ

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。
	各行事の市内外からの参加 高校生の参加の広がり		各行事への参加人数 高校の参加高

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>沼津市のスローガンに「沼津の誇りを見つけよう！楽しもう！広げよう！」とあり、また教育指針に「貴い志」とあります。顕彰活動をその一環として位置づけて実行していこうと思う。</p>
地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>「広報ぬまづ」や地元マスコミへの投稿を通して市民への広報活動をさらに工夫していく。SNSの活用にも心がける。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>昨年は、碑前祭、命のビザ講演会を通して、幸子夫人の母校、香川県の県立高松高校、ユダヤ難民の日本上陸地、福井県敦賀市の市立敦賀ムゼアムとの絆が結ばれた。また、イスラエル大使館、リトアニア大使館、ポーランド文化センターとの信頼関係が深まった。このような顕彰活動の輪をさらに広げていきたい。</p>
発展性 ・ 継続性	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>沼津での顕彰活動が県外にも認識されるようになり提携の動きが始まり友好提携都市の可能性もあるようになった。この点沼津市に提案していきたい。また、今年には沼津市制100周年の行事で他県からの来訪者もあるので、顕彰碑について紹介していただく好機であると考えている。</p>

<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>この顕彰活動について沼津市の主体的な参画、協力を期待している。それによって、顕彰活動を先行している福井県敦賀市、岐阜県八百津町、愛媛県名古屋市など杉原千畝を顕彰している自治体との連携が期待できる。さらに、イスラエル、リトアニア、ポーランドの友好親善関係にも寄与でき、沼津の国際化、インバンド観光の誘致にも貢献できることと思う。沼津市に積極的に働きかけて行きたい。</p>
<p>活動に 対する 熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>この顕彰活動の原点は、沼津の誇りの発掘と展開、人道の精神の継承にある。沼津市が富士山の麓から国内外に人道の精神を発信する「人道の町」となることを願って止まない。</p>

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <p>次年度以降については、これまでお世話になった「まちづくりファンド」の助成対象外になり残念であるが、活動の継続が必要だと思う。活動資金については基金運用に加えて何らかの助成金の可能性を追求していきたい。次世代の継承者の育成も課題である。</p> <p>これまで4年間の活動で築きあげた人の和、信頼関係を大切に活用していきたい。</p> <p>とくに来年は顕彰碑除幕5周年を迎えるので、「点から線へ」をテーマにして「命のバトンリレー会議」など記念の企画を考えたい。</p>
--

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

<p>※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。</p> <p>顕彰碑設置については沼津市、沼津千本ライオンズ、市内の民間会社に協力していただいた。諸行事の開催運営については沼津国際交流協会に協力して下さった。イスラエル、リトアニア両駐日大使館は英文説明文の設置に協力して下さった。</p> <p>沼津市民をはじめ市内外、県外から「命のビザ」に関心のある人々、に呼びかけ参加していただいた。高校生に、通訳、募金活動、パネル展について参加してもらい参加者の年齢層が広がった。</p> <p>沼津千本ライオンズ、沼津国際交流協会、表千家、裏千家のお茶人の参加により、人の輪を拓けながら顕彰活動は進められてきた。ただし、認知度はまだまだ十分ではないというのが現状である。</p> <p>2020年 11月1日 杉原夫妻の顕彰碑除幕式 参加者 250名 沼津市の協力で港口公園に顕彰碑を設置 沼津千本ライオンズクラブが日本語説明板を寄贈 イスラエル、リトアニア両大使館からの出席 暁秀高校バイリンガルコースの生徒による通訳</p> <p>11月3日 第1回「命のビザ講演会」 元駐リトアニア全権大使 重枝豊英「リトアニアと杉原千畝」 沼津西高・音楽部賛助出演 千本プラザ 参加者200名</p> <p>11月29日 ポカラ座公演「6000人の命のビザ」 千本プラザ 参加者200名</p> <p>2021年 11月14日 第1回碑前祭「命のビザ・希望の集い」 イスラエル、リトアニア両大使館と顕彰会、 3者の協力による英文説明板の設置 新たにポーランド文化センター代表出席</p>

11月27日 第2回「命のビザ講演会」 沼津市民文化センター
川村 秀「モスクワでの千畝さん」北出 明「命のビザを繋いだ人々」

2022年 10月3日 第2回碑前祭「命のビザ・希望の集い」
イスラエルは国交樹立70年、リトアニアは100年に当たり、両駐日大使館から大使が出席された。11月のイスラエル大使館主催の祝賀会に沼津市長とともに、顕彰会代表2名が招待された

11月20日 第3回「命のビザ講演会」 プラサヴェルデ
山田純大「命のビザを繋いだ男〜小辻節三〜」

11月17～21日 プラサヴェルデ・市民ギャラリー
パネル展「空のない星〜ホロコーストの子供たち」の開催
国交樹立70周年事業としてイスラエル大使館と顕彰会による共催
引き続き、11月末～翌年1月末の期間、暁秀高校、桐陽高校
沼津東高校、沼津市立高校の4校で巡回展示、在校生たちが見学。
ホロコーストへの歴史的認識を深めることができた。

市内高校の参加による若年層の社会活動の促進

100周年をきっかけに杉原千畝ゆかりの都市、イスラエル、リトアニア、ポーランド各国との友好親善関係の糸口が出来た。もう一歩前に進むためには行政の関わりが必要。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。